

# 株主通信

2020年

情報革命の推進による  
株主価値(NAV)の最大化を目指して——  
ソフトバンクグループの挑戦は続きます

 SoftBank  
Group

ソフトバンクグループ株式会社 証券コード:9984



## 株主通信 2020年 目次

2 …… 株主の皆さまへ

3 …… 2020年度上期の事業概況

4 …… 最重要指標としての株主価値(NAV)／  
財務方針の堅持

5 …… 2020年度上期のトピックス①  
・最大4.5兆円の資産の売却または資金化について

6 …… 2020年度上期のトピックス②  
・当社子会社アーム全株式の売却について  
・ソフトバンク・ビジョン・ファンドの業績について

7 …… サステナビリティへの取り組み

## 株主の皆さまへ

当社は「情報革命で人々を幸せに」という創業以来変わらない経営理念の下、情報技術の発展によって社会やライフスタイルが変革する「情報革命」を牽引し、世界の人々が最も必要とするテクノロジーやサービスを提供する企業グループとなることを目指しています。

当社はアリババやソフトバンク(株)などの優れた事業会社の株式を保有する一方、ソフトバンク・ビジョン・ファンドを中心に「情報革命」の牽引役として期待される、AI(人工知能)を活用した成長可能性の大きな企業への投資を行っています。

昨今の新型コロナウイルス感染拡大によって

人々の接触や移動が制限され、

さまざまなサービスや活動のオンライン化が加速する中、

当社はこれらの投資活動を通じて引き続きデジタルシフトを牽引し、

社会に貢献するとともに、株主価値(NAV<sup>※</sup>)の向上を目指していきます。

ソフトバンクグループ株式会社  
代表取締役 会長 兼 社長執行役員

孫正義

※ Net Asset Value



SoftBank  
Group

# 2020年度上期の事業概況

2 2020年度上期の税引前利益は、前年同期比2,688億円増の1兆4,415億円となりました。持株会社投資事業において、Tモバイル<sup>※1</sup>株式売却関連利益を計上しました。加えて、SVF1<sup>※2</sup>等SBIA<sup>※3</sup>の運営するファンド事業において、投資の売却や公正価値上昇に伴う利益を計上しました。このほか、アリババ株式の先渡売買契約に係るデリバティブ関連損失や、スプリントに係る支配喪失利益などを計上したことにより、純利益<sup>※4</sup>は前年同期比1兆4,616億円増の1兆8,832億円となりました。

た。中間配当については、1株当たり配当金を前年と同額の22円といたしました。

## Ⅰ 連結業績

(億円)	2019年度 上期	2020年度 上期	増減額 (増減率)
売上高	25,397	26,305	908 (+3.6%)
投資損益合計	2,160	20,333	18,173 (+841.5%)
税引前利益	11,727	14,415	2,688 (+22.9%)
親会社の所有者に 帰属する純利益	4,216	18,832	14,616 (+346.7%)

## 連結損益計算書の表示および報告セグメントの変更

ソフトバンクグループ(株)は、直接(子会社を通じた投資を含む)または投資ファンド(例えば、SVF1)を通じて多数の企業に投資を行い、その投資ポートフォリオを管理する戦略的投資持株会社です。2020年4月1日にスプリントとTモバイルの合併取引が完了し、同日からスプリントが当社の子会社ではなくなったことにより、当社の連結業績全体に占める投資活動の重要性が一層高まったことを踏まえて、2020年度第1四半期より連結損益計算書の表示を変更し

ました。具体的には、連結損益計算書において「営業利益」の表示を取り止める一方で、連結業績における投資の成果を明示するために、新たに「投資損益」を表示しています。また、同第1四半期よりセグメント管理区分も変更し、「持株会社投資事業」を新たに設けました。同第2四半期末現在、当社の報告セグメントは「持株会社投資事業」「SVF1等SBIAの運営するファンド事業」「ソフトバンク事業」「アーム事業」の4つです。

※1 T-Mobile US, Inc. ※2 ソフトバンク・ビジョン・ファンド1 ※3 SB Investment Advisers (UK) Limited ※4 親会社の所有者に帰属する純利益

## 最重要指標としての株主価値 (NAV)

**戦** 略的投資持株会社であるソフトバンクグループ(株)は、各グループ会社を投資ポートフォリオとして統括するマネジメント体制の下、株主価値(NAV)の最大化を目指しています。株主価値(NAV)は、投

資ポートフォリオ全体の保有株式価値からソフトバンクグループ(株)の純負債<sup>※</sup>を差し引いて算出されます。中長期的な株主価値(NAV)の最大化に向けて、各グループ会社の株式価値の増大に取り組んでいます。

## 財務方針の堅持

**戦** 略的投資持株会社として最重視する財務指標は、ソフトバンクグループ(株)の純負債÷保有株式価値で計算されるLTV(Loan to Value)です。金融市場の平時にはこのLTVを25%未満で運営し、異常時でも35%を上限とする方針をとっています。2020年9月末時点のLTVは11.8%と25%を大きく下回り、極めて安全な水準で推移しています。もう一つの重要な財務指標は手元流動性です。少なくとも今後2年分の社債償還額に相当する手元流動性を維持する方針を堅持しています。2020年9月末時点で、向こう2年分の社債償還額を優に上回る2.4兆円

の潤沢な手元流動性を有しているうえ、子会社からの安定的な配当収入もあるため、財務の安全性は揺るぎないものとなっています。こうした財務方針の下、市場環境に応じた機動的な財務運営を行っています。

### 株主価値 (NAV)



<sup>※</sup> ソフトバンクグループ(株)の純負債 (アセットファイナンス控除後) = ソフトバンクグループ(株)の純有利子負債 (ソフトバンクグループ(株)の有利子負債 - ソフトバンクグループ(株)の現預金等)

## 最大4.5兆円の資産の売却または資金化について

**当**社は2020年3月23日、自己株式取得と負債削減のために最大4.5兆円の当社保有資産の売却または資金化に関する方針（「本プログラム」）を発表しました。売却または資金化で得られた資金のうち最大2兆円を自己株式取得に、残額を負債の返済、社債の買入れ、現預金残高に振り向けるものです。保有資産の売却または資金化については、①Tモバイル株式の一部売却、および同株式を活用した借入

れ（計2.4兆円）②先渡売買契約によるアリババ株式の一部資金化（計1.7兆円）③ソフトバンク株の普通株式の一部売却（計1.5兆円）をもって完了しています。①から③の結果、保有資産の売却または資金化した金額は合計5.6兆円となり、4.5兆円を大幅に上回りました。目標額を超過して取得した資産売却の手取金の資金使途は現時点で未定であり、今後財務体質の健全性を保ちつつ、持続的成長に向けた新規投資と株主への利益還元の両立を図りながら決定していきます。

一方で、最大2兆円の自己株式取得については、2020年9月末までに5,401億円、その後2020年10月末までに1,393億円の取得を完了しています。また、財務改善については、2020年度上期末までに、1,676億円（額面総額）の国内無担保社債の買入れを含む、総額1.5兆円の負債返済を行いました。

### 「本プログラムの進捗状況」※



※ 資金化および実施済の負債返済は2020年9月末時点、実施済の株主還元は2020年10月末時点

## 当社子会社アーム全株式の売却について

**2** 020年9月13日(米国時間)、当社100%子会社であるSoftBank Group Capital LimitedおよびSVF1が保有する当社100%子会社Arm Limited(「アーム」)の全株式を、米国の半導体メーカーであるNVIDIA Corporation(「NVIDIA」)に対して、取引価値を最大400億米ドル(約4.2兆円<sup>\*</sup>)と評価した取引で売却(「本取引」)する契約が締結されました。AIコンピューティングの第一人者

であるNVIDIAと、広大なエコシステムを擁するアームの融合で、AI時代の最高峰のコンピューティングカンパニーが誕生すると期待されます。本取引の完了には契約締結から約18ヵ月かかると見込んでいます。なお、本取引の完了をもってアームは当社の連結対象から除外されますが、当社はNVIDIA株式を保有することで、アームの長期にわたる成功に引き続きコミットします。

<sup>\*</sup> 1ドル=106円で換算

## ソフトバンク・ビジョン・ファンドの業績について

**当** 社はSVF1、SVF2<sup>\*</sup>を中心に、AIを活用した成長可能性の大きな企業への投資を行っています。投資は順調に進捗し、2020年9月末時点で、それぞれ83銘柄と13銘柄を保有しています。2020年度上期において、SVF1およびSVF2からの投資利益1兆3,366億円を計上しました。主に、SVF1で①投資の売却による実現益(純額)1,414億円のほか、②株式市場の復調に加え、エグジットの決定や資金調達ラウンド、新型コロナウイ

ルス感染拡大に伴うデジタルサービス導入加速の追い風を受けた投資先の公正価値上昇により、未実現評価益(純額)7,299億円を計上したことに加え、③SVF2で、KE Holdings Inc.の上場後の株価上昇などで、未実現評価益(純額)5,372億円を計上したためです。なお、2020年11月9日現在、ソフトバンクグループ(株)はSVF2に100億米ドルの出資をコミットしています。SVF2は外部投資家の参画を含むクロージングを行っていません。

<sup>\*</sup> ソフトバンク・ビジョン・ファンド2

## 〈サステナビリティへの取り組み〉

「情報革命で人々を幸せに」というソフトバンクグループの経営理念には、300年後の未来、何世代も先の人々まで幸せにし続ける、という決意が込められています。人と地球が、いつまでも共存できる世界をつかっていくために、ソフトバンクグループは、持続可能な社会の実現に向けて、情報革命をリードする企業としての責任を果たしていきます。

こうした理念の下、当社はお客さま、株主、債権者、取引先、従業員などの幅広いステークホルダーを含む持続可能な社会の発展のため、さまざまな取り組みを行っています。2020年度上期においては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い生じる課題への支援として、抗体検査キットを感染状況の確認を必要とする医療機関等へ無償で提供しました。また唾液PCR検査を低価格・高頻度で提供することを目指す新会社「新型コロナウイルス検査センター株式会社」を設立し、同社を通じて、新型コロナウイルスの感染拡大防止および経



新型コロナウイルス検査センターの様子

済活動の早期正常化に貢献していきます。加えて、SVF1の投資先企業も治療法の開発や生活困窮者に必要な支援の提供など、さまざまな取り組みを行っています。また、2011年に参入した再生可能エネルギー事業を通じ、情報化社会を推進するうえで必要となるエネルギーの生成までを見据えた環境への取り組みを継続していきます。さらに、より健全な企業運営を継続するためのガバナンスを実現するとともに、当社のさまざまな取り組みについての説明責任を果たしていきます。

## 株主メモ

■ 事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
■ 期末配当金受領株主確定日	3月31日
■ 中間配当金受領株主確定日	9月30日
■ 定時株主総会	毎年6月
■ 上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
■ 公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL : <a href="https://group.softbank/">https://group.softbank/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告します)

### ○住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定について

証券会社等に口座を  
お持ちの株主さま …… 口座を開設されている証券会社までお問い合わせください。

特別口座をお持ちの  
株主さま …… 下記連絡先(三菱UFJ信託銀行証券代行部)までお問い合わせください。  
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎします。

### ○未受領の配当金のお受け取りについて

支払期間経過後の配当金については、三菱UFJ信託銀行本支店までお問い合わせください。

### 株主名簿管理人・特別口座管理機関へのお問い合わせ

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部(郵送先) 電話: **0120-232-711** (通話料無料)  
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 <受付時間> 土日祝日を除く平日 9:00 ~ 17:00

(注)旧株式会社アッカ・ネットワークス株式に係る特別口座管理機関へのお問い合わせ 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 電話: 0120-782-031 (通話料無料) (受付時間 土日祝日を除く平日 9:00 ~ 17:00)

- 本誌に掲載されている会社名、社名および商品・サービス名などは、各社の登録商標または商標です。
- 本誌の一部あるいは全体について、当社の許可なく複製および転載することを禁じます。

**免責事項** 本誌に掲載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざま  
なリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本誌に掲載されている当社および  
当社グループ以外の企業などに関わる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません

### ソフトバンクグループ株式会社

〒105-7303 東京都港区東新橋1-9-1  
電話: 03-6889-2000 <https://group.softbank/>

### 会社概要はこちらへ

ソフトバンクグループ 会社概要



2020年12月11日発行  
Copyright © 2020 SoftBank Group Corp.  
All Rights Reserved. Printed in Japan

